



議会だより

なおしま

2017 No. 180
平成29年7月10日

発行●香川県直島町議会
編集●議会広報編集特別委員会
電話●(087)892-2297
印刷●山陽印刷(株)



気持ちいいー!! (幼児学園プール開き)

正・副議長決まる(臨時議会)……………2・3P
瀬戸芸のマンネリ化に課題(町長・教育長報告)……4・5P
高齢者へのサービス向上を(一般質問3人)……6~8P
処理完了目前!!(委員会レポート)……………10・11P
赤い糸で繋がるように(U・Iターン者に聞く)……12P

まち」に〈小林議長〉

小林議長・井下副議長を選出

各委員会の委員と正副委員長も決まりました

5月1日、臨時議会を開催し、正・副議長の選出をはじめ、常任委員会・議会運営委員会・特別委員会などの議会構成を行いました。また報告1件等と農業委員7人の任命に同意しました。

就任あいさつ



小林 眞一 議長

5月の臨時議会で、議員諸氏から議長にご推挙いただきました。

誠に光栄ではありますが、責任の重さに押し潰されることなく前進したいと思っております。さて、議会は町の各種事務事業の議決機関、また、監視機関として町の方向性に重大な役割を担っています。

このことから、議会は重要な機関であり、議員もさらなる資質の向上が求められています。また、三菱マテリアルは百年もの長きにわたる直島で事業展開され、さらに、今後の百年を見据えた企業展開も考えられています。なお、観光産業など、町全体が「明るく元気なまち」になりますよう微力ではありますが、全力である所存でありますので、町民の皆様方のご理解・ご協力をお願いし、就任のご挨拶といたします。



井下 良雄 副議長

この度議員各位のご賛同をいただき、副議長の職に就くことになりました。

直島町の直面する人口減少問題、財政、活性化対策等、町の将来を考える大事な時、改めて重責を実感するところであります。

副議長として、小林新議長をバックアップ、また補佐をして、濱中町長率いる町執行部と議長を中心とした我々町議会が真に車の両輪となり、お互い力を合わせて諸問題に取り組み、今以上に町が発展、活性化していくよう、大変微力ではありますが、全力でがんばりたいと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

今以上に町の活性化を

「明るく元気な

〈議会構成〉

常任委員会

◆総務・文教

委員長 石川 知久
副委員長 西岡裕喜広
委員 浜口 敏夫
丸山 義朗
井下 良雄

◆経済・民生

委員長 小野 孝一
副委員長 中野 善正
委員 松島 俊雄
蓬 清二
小林 眞一

議会運営委員会

委員長 浜口 敏夫
副委員長 丸山 義朗
委員 他正副議長を除く議員

香川県後期高齢者医療 広域連合議会

議員 小林 眞一

特別委員会

◆町活性化対策

委員長 蓬 清二
副委員長 松島 俊雄
委員 他議員全員

議会選出監査

委員 小野 孝一

玉野市・直島町連絡協議会

理事 小林 眞一
委員 井下 良雄
他議員全員

議会事務局

局長 植田 圭一
事務員 安西 七葉

◆広報編集

委員長 丸山 義朗
副委員長 石川 知久
委員 西岡裕喜広
浜口 敏夫
小野 孝一

オプザーバー
議 長 井下 良雄

農業委員会委員

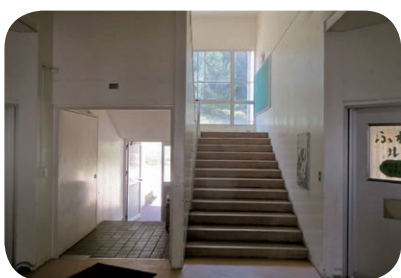
7人の任命に同意

和島 輝男
高田 洋一
西岡 幸子
大山 一郎
西村 和雄
堺谷 末廣
大林 茂樹

(敬称略)

小学校防火区画改修工事請負契約

○普通教室棟の1階から3階の階段部4カ所にスチール製防火シャッター等を設置する工事



防火シャッターを取りつけます

- 契約の方法
指名競争入札
- 契約金額
5940万円
- 契約の相手方
(株)まつもとコーポレーション
- 工期
町指定日から平成29年10月31日

瀬戸芸の マンネリ化に課題



濱中町長

危機感を
持っている

に開催しました。町
して質疑を行い、提
議案4件を慎重に審
全員賛成で可決しま

(主なもの)

- 3月22日 四国汽船(株)の会長・社長が、高松発高速艇最終便の時刻変更協議のため来庁されました。
- 3月22日 診療所委員会等活動報告会が、ふれあい診療所で開催されました。
- 3月27日 観光協会理事会が開催され、経営状況などについて報告がありました。
- 3月31日 瀬戸内国際芸術祭実行委員会総会が開催され、次回芸術祭を2019年に開催することに決定しました。
- 4月14日 三分一博志氏が直島ホールの設計により2017年日本建築学会賞(作品)を受賞することが決定しました。
- 4月26日 文化協会総会が開催されました。今年のお教育文化祭は製錬所の100周年記念行事とあわせ武道場、弓道場等を利用して開催することになりました。
- 4月29日～5月7日 宮浦港地でゴールデンウィーク中の観光客受入体制の強化を図り、町営バスの運行本数も増便しました。全体の客数はほぼ昨年と同じで特に大きな混乱はありませんでした。
- 5月29日 北川フラム氏が来庁され、次回瀬戸芸の基本計画策定に向けた意見交換を行いました。

主な質疑

経営健全化委員会を

Q (井下) 診療所委員会活動報告会のなかで経営健全化を目的とした委員会はありますか。

A (町長) 委員会は6つありますが、医療面の改善に係るものだけだ。

A (事務長) 医師、師長、事務局による検討委員会はある。

乗船料の町民割引は

Q (丸山) 高速艇の時刻変更協議の際、町民のための料金割引についての話はなかったか。

A (町長) なかった。救急患者搬送の割引については要望したが、無理との回答があった。

Q (小野) 観光協会の経営状況が以前に比べ良くないと聞く。

観光協会の経営状況は

Q (小野) 観光協会の経営状況が以前に比べ良くないと聞く。

もし赤字になったとき、町が支援することになるのか。

A (町長) 現在赤字にはなっていない。黒字のときの利益を留保資金として持っているもので、赤字となっても当面は補填できる。観光案内業務自体は利益がでるものではないので、将来的には可能性がないとは言えないが、早めに観光月例会議や理事会で対策を検討する。

記念品贈呈の考えは

Q (井下) 直島ホールで建築学会賞を受賞したことは喜ばしい。三分一博志氏にお祝いの記念品贈呈は考えているか。

A (町長) 町は発注者の立場なので特には考えていない。

Q (井下) 北川フラム氏が表敬訪問に来ているが、宮ノ浦へのお

次回瀬戸芸の考えは

Q (井下) 北川フラム氏が表敬訪問に来ているが、宮ノ浦へのお

新規作品制作やギャラリー六区の有効活用について要望したか。

A (町長) 基本計画の策定に向けて関係市町の意見を聞くための訪問で次回瀬戸芸では「アーティストと子どもたちがふれあえるもの」を考えたいとのこと。瀬戸芸も次回で4回目、回を重ねることのマンネリ化に対応していくかが課題で、六区の活用については福武理事長にお願いしている。



直島銭湯以外にも何か...

安全面に 十分な配慮を



原教育長

6月定例会を7日
長・教育長報告に対
出された報告2件・
議し、原案のとおり
した。

最大限
努めたい

(主なもの)

- 3月14日 中学校卒業証書授与式が挙行されました。卒業生徒数は、男子8人、女子18人の計26人でした。
- 3月22日 国際交流推進協議会が開催されました。主な議題は「中学生・高校生海外研修事業」などでした。
- 4月17日 幼児学園東側庭園において17匹の鯉のぼりを掲揚しました。
- 4月20日 三菱マテリアルが、鷲ノ松に建築している武道場を見学し、秋の教育文化祭と製錬所の100周年記念行事と共同開催できるか、検討することになりました。
- 5月18日 幼小中合同研修会が小学校で開催され、2年生の英語活動等について話し合われました。

主な質疑

安全には十分な配慮を

Q

(中野) 中・高校生
の海外研修でイ
ギリスへ行くが、最近テ
ロ事件が相次いでいる。

安全面では十分な配慮
が必要ではないか。

A

(教育長) 全くそ
の通りである。

今回は中学生1人、高
校生3人が研修に行く。

前ALTS5〜6人の協
力が得られるので、十分



数が減った鯉のぼり

な連絡を取り合い、安全
面の確保に最大限努めた
い。

Q

(小野) 今年は幼
児学園の鯉のぼり
の数が少なく、さみしい
思いがした。所有してい
る町民の方に呼びかけ
て、数の確保をすべきと
思うが。

A

(教育長) さらに
範囲を広げて、町
民の皆さんにも呼びか
け、数の確保に努力した

い。

交通安全に万全を

Q

(井下) 製錬所の
武道場で100周
年記念行事と、秋の教育
文化祭が開催されるとの
ことだが、県道も隣接し
ており、交通事故が懸念
される。

交通警備員を配置すべ
きと思うが。

A

(教育長) 指摘の
とおりだ。関係各
方面と協議する。



車に気をつけて (武道場前)

問いました

おいて作成しています。

高齢者へのサービス向上を

〔町長〕 何か支援できる方法を検討する



西岡 議員

ふれあい診療所に対応できない専門医へ受診のために、高齢者が町外の病院に通院している。本町は離島なので小型船やフェリーを利用しなければならぬデメリットがある。

町営バスは高齢者に、無料の回数券を発行しているが、フェリーについても町営バス同様に希望者に配布したり、一部負担できないか。

A (町長) 町外の専門的な医療機関を受診されているのも事実だ。不便さ等を感じているのは、高齢者に限らず町民全員に共通することなので、高齢者だけに優遇措置を実施するのは、理由がないと難しい。

町外の医療機関にかかる機会が増えると、診療所の経営も悪化の恐れがある。また、町外で買い物をする事から、町内の商業面への悪影響も懸念される。

船の利用助成はしない方がいいと思うが、実態を調べた上で、何か支援できないか検討する。

町民専用小型バスを 軽自動車に

現在の町民専用小型バスは道幅が狭いため石場等へ運行できていない。バス停まで足腰の悪い方は、不便を感じている。ふれあい診療所に行くのも大変だと思う。

狭い道にも対応できるように軽自動車で行ければ、高齢者の利便も図れるのではないか。

A (町長) 社会福祉協議会が実施している福祉有償運送事業が利用でき、1回の利用料が300円とバスより高いが、その差額を町で、補助していく方法もある。

軽自動車で狭い道も走れる新しいルートでの運行を始める方法は、経費面を考えると、年間



軽自動車にできないか

500万円のコストがかかるため、福祉有償運送事業の活用とそれに対する補助が最も効率的だと考える。

Q 他自治体では、さまざまな支援事業を行なっている。離島振興法の中に、高齢者福祉の増進を図るといった文言がある。

離島活性化交付金を使って町独自の高齢者が住みやすい支援策を、新

しく展開していくべきではないか。

A (町長) 離島振興法の対象になる事業に対応できないかとの指摘だが、現時点では調査等の確認ができていないため、はっきりした回答ができないが、高齢者福祉に適応でき、良いものがあれば、取り入れて活用していきたい。

使った文言がある。離島活性化交付金を使って町独自の高齢者が住みやすい支援策を、新

3人が

内容は質問者の責任に



松島 議員

葬祭事業を社会福祉協議会で

〔町長〕 社協では困難だ

〔町長〕 社会福祉協議会が葬祭事業を担当することについては現行制度を採用する前に検討したが、県社協から適当でないとの指導があり現在に至っている。今回も改めて確認したが前回同様の回答により困難。現体制側から相談があれば支援と協力はする。

昨年12月定例議会での浜口議員の一般質問「不安のない葬儀体制を」の質問に対して、町長は「葬儀は宗教的な面もあり町が直接執り行う事は難しい。しかし実際に困るのは町民なので、できるだけ対応はする」と回答した。そこで社会福祉協議会の事業活動に組み入れることを検討するべきと考える。ヤルという町長の決断があれば可能と考えるが、町長の積極的な判断を求める。

〔町長〕 高齢理由で墓掃除が困難となった2軒程の方がシルバー人材センターに依頼され、1回3〜4千円程度の費用で利用されているようです。会員制と同様の効果を出している。また高松市にならって「ふるさと納税」の返礼品として墓地清掃を検討してもよい。

近年 墓守り 当事者の流出と高齢化に伴い、親類縁者による留守墓守りが増えている。この高齢化した親類縁者や当事者たちがいなくなった時留守墓を守る仕組みと組織が必要である。会費制の会員組織を作ってはどうか。

墓守りの会員組織を

議会を傍聴しませんか

次の議会定例会は、**9月**に開催されます。

傍聴の手続きは、役場3階議場内の傍聴席受付で住所・氏名等を記入だけです。

議会事務局 ☎892-2297





大勢の観光客受入れの様子

DMOの設立・推進を

〔町長〕 先進地の動向を見て検討



井下 議員

濱中町政になり、私は一般質問等で観光行政の推進について何度か質問を行ってきた。

その中で、町の観光や活性化策を考える時、行政や各種民間団体が個々に活動するのではなく、官民一体となった体制づくりが必要であると訴えてきた。

今回提案する「DMO」はまさにその目的のために国土交通省観光庁が提案したもので、すでに全国各地の地域や自治体で実施され、地域が活性化しているという成功事例が多く発表されている。

我が町も今一度、近い将来を見据え、世の中の早い動きに乗り遅れるこ

とのないよう町、観光協会、町内地場産業、関連事業者等が一丸となり「DMO」を設立し、目標に向けた施策、行動を早急に推進するよう強く要望する。

A (町長)「DMO」を設立するという

ことは、登録制度の要件を満たし、観光庁が進めるこの取り組みに参加するということ。しかし、登録に際しては、地域観光の役割を担うために実施しなければならぬ条件が細かく規定され、戦略の策定をするために膨大な量の事務作業と、これに従事する専門の人材確保も義務づけられるなど、相当ハードルは高い。

まだ始まったばかりの制度であり、先進地の成果や動向を見ながら慎重に検討する必要がある。

しかし、DMOの役割の「多様な関係者の合意

形成」と「戦略実施のための調整機能を備える」という部分は、観光協会でも大きな課題と認識しており、幅広い関係団体の代表者等で構成している理事会で議論を活発化し、対策を講じることでDMOの役割の一部は担っていけると考える。

※日本版DMOとは

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った、観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実施するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人

児童の体力レベルは

2016年度の全国体力テストの結果、県内の小学5年生の全国順位は男子36位、女子34位でも過去最低と同じ順位だった。

しかし、生活アンケート調査で

- 朝食を毎日食べる
- 1週間の総運動時間が長い
- 家の人から運動の勧めがよくある

等の児童は男女とも全国レベルに達していた。と地方紙の特集記事に載っ

ていた。

小学校の児童の体力は県全国でどのレベルか。また、学校と保護者が子どもたちに対し

- ゲームは控えさせ、外で遊ぶことを勧める
- 親子で一緒に外で運動する
- 食事はしっかりと取り、早く寝る

といった指導ができているか。

A (教育長) 昨年の5年生15人の結果

は、男子は全国平均を上回り、女子はやや下回り、全体ではやや上回った。

また、過去3年間の結果も全国レベルを上回っている。

子どもたちに対しての生活指導は保護者と共通理解を図り、年間を通して機会と捉えて指導している。



元気に走る子どもたち

条例

直島町立幼保連携型 認定こども園条例の一部改正

国の「幼児教育の無償化に向けた取組の段階的推進」により、保育料負担の軽減を図るため、国が政令を改正したのに準じて、町条例を改正するもの。

主な改正点は、第2階層に認定された世帯（町民税非課税世帯）について、これまで「第2子の保育料が半額、第3子以降が無料」であったが、「第2子以降から無料」となり負担軽減が図られます。

工事請負契約



老朽化した第5分団屯所

第5分団屯所の 老朽化に伴う更新工事

- 契約方法
指名競争入札
- 契約金額
6631万円
- 契約の相手方
三菱マテリアアルテクノ(株)
直島事業所
- 工期
町指定日から平成30年2月28日

物品購入契約

消防ポンプ 自動車購入

- 契約方法
指名競争入札
- 契約金額
1925万円
- 契約の相手方
(株)岩本商会高松支店
- 納入期限
平成30年2月28日

Q 契約額の財源内訳は。

A 1600万円は辺地債で、残りは一般財源だ。

Q 辺地債といいますが、利子は町とだが、利子は町負担なのか。

A 辺地債の利子にも交付税によるバックがある。



いつも閉まっているギャラリー六区

追跡

あれ、どんなっとな!

このコーナーは、議員が以前、一般質問や委員会などで質問した問題が、その後どうなっているかを追跡してお知らせします。

ギャラリー六区の常時展示を

宮ノ浦地区のギャラリー六区は、瀬戸芸の時だけでなく常時展示してくれるようベネッセに要望しては。
(平成28年12月定例会 井下議員)

答 弁

閉めているのはもったいないので要望したい。
(濱中町長)

経 過

瀬戸芸の理事会があるたびに福武理事長には何とかしてほしいとお願いしている。理事長も担当者には指示をしているらしい。もう少し待ってほしい。
(29年6月定例会 濱中町長)



買い替え予定のポンプ車

教育文化祭 武道場で



石川 委員長

〔総務課〕

スマホへも開始

○4月1日 ふれあい通信のスマートフォン版のサービスを開始した。

クールビズを実施

○5月1日 県にあわせて10月31日までクールビズを実施。(国は9月30日まで)

〔教育委員会〕

移動図書館

○利用実績

(平成28年度)

①利用延人数 690人

②貸出総冊数

7084冊

改修工事の指導

○3月31日 岡山理科大学の江面教授に極楽寺改修工事について現地指導を受けた。

面接試験を実施

○4月22日 中・高生海外研修事業の派遣希望生徒に面接試験を実施



製錬所が建築中の武道場

今年の教育文化祭は

施。中学生1人、高校生3人を派遣する。

○4月26日 文化協会の総会開催。製錬所から

要請のあった建築中の武道場で教育文化祭を実施することになった。

〔まちづくり観光課〕

写真展を開催

○3月18日～4月26日 地域おこし協力隊の活

動として「直島のここが好き」写真展を開催。347枚の応募があり、最優秀賞は松村美由記さんだった。

繁忙期対策

○4月29日～5月7日

港やバス停で観光客の案内やバスの臨時便対応をしました。期間中の入込客は4万6044人、5月3～5日は2万4797人だった。

活性化対策特別

処理完了

目前!!

豊島廃棄物等
処理完了式典を



蓬 委員長

5月16日、香川県から大山環境森林部長はじめ担当者が、町からは濱中町長ほか関係者が出席のもと、委員会を開催しました。

まず最初に大山部長、濱中町長より挨拶を受けた後、県側より豊島廃棄物等の処理状況について3点の説明がありました。



大仕事が完了する環境センター

活性化対策特別および合同常任委員会を業等の報告を受け、議論を交わしました。



小野 委員長

住環境の整備を

5月16・17日の両日、活開催し、各課からの現状・事主なもののみ報告します。

〔ふれあい診療所〕

(平成28年度)

○外来患者

内科 1万1614人

外科 3101人

小児科 1413人

泌尿器科 223人

○入院患者(一般入院)

1135人

○時間外救急患者

479人

〔医師2人体制維持を〕

○県へ「今後も医師2人の確保をお願いしている」が「直島町も努力して下さい」と言われている。

〔住民福祉課〕

○4月21日 日本赤十字社直島町分区社資募集打合せ

○5月25日 福祉有償運送運営協議会

利用状況は

有償運送運営の登録人数は、

35人くらいだと思ふ。週に2〜3

人の利用状況だ。



大きくなあれ

〔早急に補修を〕

Q 町内の道路で、へこんだ部分があり、つまずいて転んだのを見た。早急に補修が必要だ。

A 舗装補修の時に直してくれよう、お願いしている。

〔環境水道課〕

○簡易水道(直島本島と向島の水道)・下水道・浄化槽

設置補助・離島飲料水供給(屏風島の水道)・住宅用太陽光発電システム設置補助等の各事業報告を受けた。

〔水のいろどろ〕

Q 宮ノ浦地区の排水ポンプ設置工事は、どのくらいまで進んでいるのか。

A 現在、設計書の仕上げをしており、6月中に入札ができればと思っている。

〔建設経済課〕

○4月10日 つり公園でタケノコメバルの稚魚5000匹を、幼児学園児と共に放流した。

○5月3日 つり公園で9月までの土・日・祝日に「鯛のお刺身定食」を開始し「鯛の釣堀」も始めた。

〔住環境の整備が必要〕

○町では数年をかけて、宅地造成・住宅整備・空き家対策を進めていく計画をしている。

1、平成29年3月末の調停期限を守るため、豊島から直島への搬出ス

ピードアップを図った結果、3月28日に搬出

作業は無事終了した。

2、処理完了時期は9日

間の予備日を含め、6

月20日頃を見込んでい

る。

3、5月8日時点の残存量は7400トンであり、進捗率は99・2%

である。

(主な質疑)

Q 直島の施設撤去は。

A 中間処理施設撤去にあたってのスケジュールは、11月〜12月にかけて公告・入札をし、解体撤去工事は来年3月から開始。1年後の平成31年3月末で終了する。

(委員から)

施設解体には、直島の業者をできる限り使ってほしいとの要望がありました。

最後に豊島産廃等処理完了式典の挙行について

次のとおり説明がありました。

目的 豊島産廃処理の報告と、直島町などの

関係者に感謝の意を表するもの。

日時 7月9日(日)

場所 総合福祉センター

招待者は総務大臣、環境大臣、県議会議員、町内の企業・団体など

豊島の方は招待するの。

住民会議の議長を含め、10人程度

を考えている。

等の質疑を交わし、委員会を閉会しました。

赤い糸で繋がるように



奥山尚久さん、てる美さん



おいしいーいコーヒー淹れてます

「うーん、コーヒーのいい香り」宮浦港にほど近い古民家の前を通ると、コーヒーの香りに足が止まります。

今回はUターンされ、コーヒーショップ「アカイト」を開店された奥山尚久さん、てる美さんにご登場いただきました。

Q 早速ですが、お二人はいつ頃直島に帰ってこられましたか。

尚 今年の2月22日に帰ってきました。

Q きつかけは。

尚 小さな店を持ちたかったこと、祖父手造りの家が空いていたこと、わりとおいしいコーヒーが淹れられることと、全てが重なったのがきつかけです。

Q これまでどちらにお住まいで、お仕事は。

尚 高校卒業後、ずっと繊維の町倉敷市児島に住んでいて、学生服やジーパンズの企画、製造、営業、販売等の経験をしてきました。

Q 何年ぶりの直島ですか。感想は。

尚 24年ぶりです。でも、あまり帰ってきたという感覚はなく、新しい場所

で新しい生き方、暮らし方を見つけないかと思っています。

Q てる美さんは初めての直島住まいですが。

て 少しずつ慣れてきているところです。ご近所の方々が優しく接してくれるのが何よりありがたいです。

Q お客さんの反応は。

て 「美味しかった」とわざわざ伝えてくれることが多く、うれしいし励みになります。

「アカイト」は、入口



交流の場にどうぞ

に赤い戸がある古い家の店で、そこでお客様と私たち、またお客様同士が赤い糸で繋がるようお願いを込めて名付けました。

Q 観光客の受け入れや交流人口増加策について、良い考えはないですか。

尚 この1カ月程の間にも直島に移住したいという方々が数人いたので、より早く空き家の整備が進めばいいと思います。

Q 最後に「アカイト」とお二人のPRをどうぞ。

尚 アカイトコーヒーはこれからみなさまの交流の場になれるように育て

ていきたいと思っています。ちょっと入りにくいけど、気軽に利用してもらえたらうれしいです。

て 1日も早く町民として認められるようになりたいと思いますので、よろしく願います。

本日はお忙しいところありがとうございました。これからも地元の方や観光客にずっとおいしいコーヒーを提供され、町の活性化にご協力よろしくお願います。

編集後記

聞き慣れない言葉が最近、はやっている。「付度」というもの。辞書によると「他人の心をおしはかること」の意味であるらしい。森友・加計学園の問題が国会で議論され政府と野党のかみ合わない論戦となっている。他人の心をおしはかるのみであればいいが、最高レベルの関与があったか、否かは謎である。

さて、豊島産廃の直島処理案が浮上して約18年経過しようとしている。

その溶融処理も、まもなく終了見込みとなったが、施設の約半分解体、残りの建物の有効活用など見守っていききたい。

(小林記)

議会広報編集特別委員会

- 議長 小林 眞一
- 委員長 丸山 義朗
- 副委員長 石川 知久
- 委員 西岡裕喜広
- 委員 浜口 敏夫
- 委員 小野 孝一
- 委員 蓬 清二
- 委員 井下 良雄